

財務省財務局総合職 内定者パンフレット



令和6年度版

はじめに

このたびは財務省財務局総合職に興味をお持ちいただき、ありがとうございます。このパンフレットは、皆様に財務局総合職のことをより深く知っていただくために、令和6年度内定者によって作成されたものです。

就職活動を進めていく上では、何かと不安なことも多いかと思います。そこで、私たちが就職活動時に考えていたこと、改めて就職活動を振り返って感じたことを皆様にお伝えすることで、少しでも皆様の不安を解消できれば幸いです。

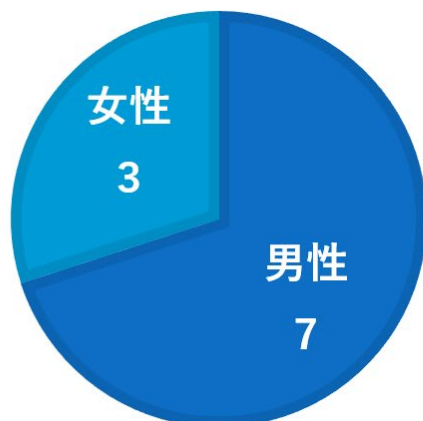
最後に、皆様の就職活動が納得のいく形で終わられることを内定者一同心よりお祈り申し上げます。

目次

1. はじめに	2
2. 内定者の基本情報	3
3. プロフィール	4
4. 試験対策	15
5. 官庁訪問の概要・対策	20
6. 面接対策	27
7. 内定者対談	30
8. 最後に	34

内定者の基本情報

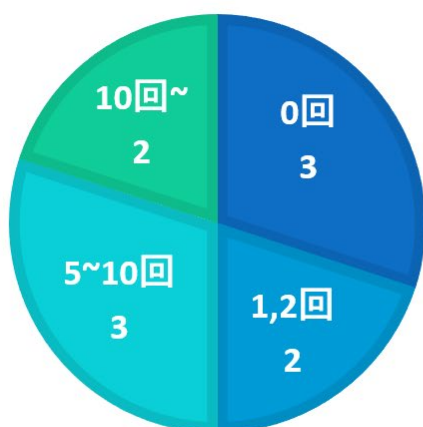
男女比



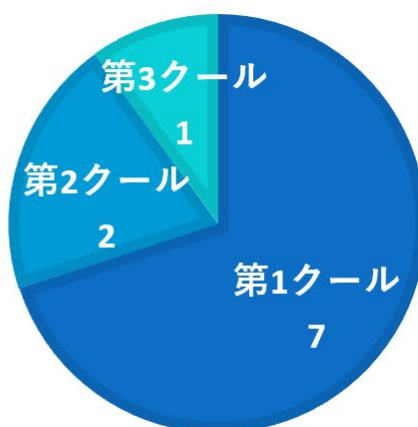
出身地



説明会参加回数



初回参加クール



受験区分



試験の席次





Profile No.1

- 【性別】 男性
- 【年齢】 23歳
- 【出身】 神奈川県
- 【大学】 中央大学
- 【学部学科】 法学部法律学科
- 【ゼミ】 憲法
- 【趣味】 Vtuber(にじホロなど)の配信を見ること
- 【区分】 教養区分
- 【説明会参加回数】 12回

併願先

- 官庁訪問先
財務省本省・財務局
- 他試験種
なし
- 民間
建設コンサルタント、政府系金融機関

自己PR

正しい振る舞いを心掛け、謙虚に生きること。このことを自分に言い聞かせながら日々過ごすように努めています。大半の人から「真面目そう」とよく言われるため、真面目だと思います！

学生時代の過ごし方

憲法のゼミでゼミ長をしていましたが、何をすれば良いのか全く分からず、優柔不断なところがあったため、ゼミ員にいつも助けてもらっていました。たくさん迷惑をかけてしまいましたが、様々な方と触れ合うことができ、見習うべき点も学べたことが大変良かったです。

人事から一言

周りの人や環境に流されない自らの軸を持っており、質疑応答から国家公務員として働きたいという想いを感じることができました。また、面接時以外の細かな所作からも礼儀正しさが垣間見え、何を任せても信頼できそうな人柄が好印象でした。



Profile No.2

【性別】 女
【年齢】 23歳
【出身】 京都府
【大学】 大阪大学
【学部学科】 経済学部
【ゼミ】 計量経済
【趣味】 映画鑑賞
【区分】 経済区分
【説明会参加回数】 1回

併願先

○官庁訪問先

防衛省、農林水産省、財務省財務局

○他試験種

なし

○民間

メーカー

自己PR

何事においても好き嫌いが無いことが強みだと思います。どんなこともそれなりに楽しみながら出来ます。

学生時代の過ごし方

ダンスを習ったり、農業をするサークルに入ったりしていました。最近はアルバイトで得たお金で旅行などをしています。写真はファームステイ先にいたヤギです。

人事から一言

落ち着いており、一見、朴訥とした印象がある一方で、話し始めると熱意・芯の強さが感じられました。他から引用した言葉ではなく、自身の体験に基づき、丁寧に一つ一つ自らの言葉にして、面接に臨んでいた姿が印象的です。



Profile No.3

- 【性別】 女
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 東京都
- 【大学】 明治大学
- 【学部学科】 政治経済学部
政治学科
- 【ゼミ】 経済政策
- 【趣味】 散歩、編み物
- 【区分】 政治・国際
- 【説明会参加回数】 14回

併願先

○官庁訪問先

財務省財務局、財務省本省、金融庁

○他試験種

東京都、財務専門官

○民間

なし

自己PR

全体を俯瞰しながら物事を進めることを目標とし、実行に移していることです。こうした強みは、ゼミやアルバイトで、他の人の行動を見ながら自分がすべきことを決めたり、足りない部分を補ったりしたことでも身についたのではないかと思います。

学生時代の過ごし方

ゼミ活動が忙しく、3年次から共同論文を執筆していました。また、マーケティングサークルに所属し、ビジネスコンテストに参加したり運営を行ったりしました。その他にも、アルバイトをして貯めたお金で旅行をしていました。

人事から一言

説明会に積極的に参加し、職員との会話を通じて、自身が財務局総合職として働くイメージを高めた上で官庁訪問に参加しており、「なぜ財務局総合職を目指すのか」という問いにしっかりと応えていたことから、吸収力の高さが伺えました。



Profile No.4

- 【性別】 男
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 愛知県
- 【大学】 慶應義塾大学
- 【学部学科】 法学部政治学科
- 【ゼミ】 現代日本政治
- 【趣味】 旅行、昭和歌謡
- 【区分】 教養
- 【説明会参加回数】 なし

併願先

○官庁訪問先

総務省自治、厚生労働省、財務省本省・財務局

○他試験種

なし

○民間

なし

自己PR

私の長所は、自らの役割を見つけて丁寧に成し遂げる事です。中学生の時、班長として班員に仕事の分担をきちんと伝達出来なかった経験以来、リーダーとして適切な情報伝達や役割分担を心掛けています。他方でリーダーでない時は縁の下の力持ちになれるよう努力しています。

学生時代の過ごし方

長期インターンを通じて、グラフやプレゼン資料の作り方を学ぶと同時に、学生秘書として所作や振る舞いなどを勉強してきました。

また、趣味は旅行で、左上の写真は辰年である令和6年の元日に沖縄の福州園で撮影した龍です。

人事から一言

礼儀正しくまっすぐに相手の目を見て受け答えする姿が好印象でした。特に政治・行政分野への関心が強く、面接官からの質問に対する回答も言葉を選びながらも極めて的確であり、熱意と理念を持って面接に臨んでいると思われました。



Profile No.5

- 【性別】 男
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 栃木県
- 【大学】 明治大学
- 【学部学科】 法学部法律学科
- 【ゼミ】 刑法
- 【趣味】 サッカー、マラソン
- 【区分】 経済
- 【説明会参加回数】 5回

併願先

- 官庁訪問先
厚生労働省、人事院
- 他試験種
栃木県庁、財務専門官
- 民間
なし

自己PR

小学校から高校までサッカーをやってきたため、体力面では自信があります。また、大学時代にはアルバイトやボランティアにも積極的に参加し、様々なアイデンティティを持った方々と出会い、その中で柔軟な価値観や多様性について学ぶことができました。

学生時代の過ごし方

基本的にはアルバイトやボランティアなどを積極的に行っていました。また、時間があればどこかに出かけたり、あるいは、スポーツをしたりして過ごしていました。高校までサッカーをやっていたこともあり、身体を動かすのが好きで、最近ではマラソン大会にも参加しています。

人事から一言

一見、不器用な印象がある一方で、打たれ強さと財務局総合職に対する確かな想いを感じました。相手の話を自分事として真剣に考え・真摯に受け止めることで、官庁訪問のプロセスが進むごとに大きく成長した点が印象的です。



Profile No.6

【性別】 男

【年齢】 22歳

【出身】 宮崎県

【大学】 九州大学

【学部学科】 経済学部経済
工学科

【ゼミ】 社会保障

【趣味】 旅行・合唱

【区分】 経済区分

【説明会参加回数】 2回

併願先

○官庁訪問先

財務省財務局、会計検査院

○他試験種

財務専門官、宮崎県庁

○民間

なし

自己PR

様々なことに興味を持てる点が私の強みです。これ！といった趣味はありませんが、様々な分野の物事に興味を抱くことができるので、それを活かして幅広い世代の方々と積極的にコミュニケーションをとるように心がけています。

学生時代の過ごし方

学生時代はアルバイトと旅行の日々でした。アルバイトは主に塾講師をしていましたが、そのほかにも色々なアルバイトを経験しました。

また、実家の宮崎に月に1回は帰省して、地元の友達や家族とご飯に行ったり母校のイベントに参加したりしました！

人事から一言

相手の懐に入りこみ会話をすることが上手で、積極性やフットワークの軽さを感じられました。それでいて、これまでの面接を通じての気づきや考えを丁寧にまとめており、難しい質問に対しても前向きに粘り強く受け答えしていた点が好印象でした。



Profile No.7

【性別】 男

【年齢】 22歳

【出身】 東京都

【大学】 早稲田大学

【学部学科】 政治経済学部
経済学科

【ゼミ】 金融論

【趣味】 ゲーム、バドミントン

【区分】 政治国際

【説明会参加回数】 8回

併願先

○官庁訪問先
金融庁、財務省財務局

○他試験種
国家一般職、東京都

○民間
なし

自己PR

相手の目線に立って考えられるところが強みです。これまでの人生において何かと教える立場になることが多く、「相手は何を考えているのか」「どうすれば相手に伝わるのか」ということを考えながら過ごしていた結果身についた強みだと思っています。

学生時代の過ごし方

学生時代は飲食店でのアルバイトに励んでいました。右も左も分からず怒られてばかりの毎日でしたが、そのおかげでメンタルが少し強くなりました。また、バドミントンサークルでは幹部を務めていてコロナ禍での活動をなんとか盛り上げようと頑張りました。

人事から一言

よく「考える」訓練がされており、会話の節々から思考力の高さが感じられました。東京都出身ながらも、地方に対する問題意識を持ち、自分に何ができるか、組織として何を成し遂げたいかを上手く説明できていました。



Profile No.8

- 【性別】 男
- 【年齢】 24歳
- 【出身】 石川県
- 【大学】 東京大学大学院
- 【学部学科】 公共政策
- 【ゼミ】 計量経済分析
- 【趣味】 プロ野球観戦、アイドル
- 【区分】 院卒行政
- 【説明会参加回数】 なし

併願先

○官庁訪問先

総務省、内閣府、財務省財務局

○他試験種

なし

○民間

鉄道（JR）、シンクタンク、不動産、IT

自己PR

しゃべるのが好きなのが長所です！ラジオを聴くのが好きで、お笑い芸人さんのラジオの影響を受けて自分も面白い話をしたいと思うようになりました。友達によく日常のエピソードを話すのですが、場所を選んで話さないといけなようなエピソードばかりなので気をつけたいです。

学生時代の過ごし方

テレビ局のスポーツ中継でアルバイトをやっていました。試合中に選手の名前やスコアのテロップを出すのが主な仕事でした。また、アイドルグループの乃木坂46が大好きで、ライブや握手会などに参加してきました。10秒ほどの短い時間で推しとの会話を楽しむ中で、コミュニケーション力が鍛えられたと思います。

人事から一言

大人びており、会話から視野の広さやバランス感覚の良さが伺えました。朗らかでコミュニケーション能力が高く、壁を感じさせない一方で、鋭い質問からは分析能力の高さ、社会問題に対する洞察力の深さが感じられました。



Profile No.9

- 【性別】 女
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 広島県
- 【大学】 広島大学
- 【学部学科】 法学部法学科
- 【ゼミ】 行政法
- 【趣味】 音楽鑑賞
- 【区分】 大卒法律
- 【説明会参加回数】 6回

併願先

○官庁訪問先

財務省財務局

○他試験種

国家一般職、財務専門官、裁判所事務官

○民間

なし

自己PR

他者との違いを受容し、周囲の人から学ぶことを意識しています。就職後も自己の考え方や価値観にとらわれることなく、状況に応じて柔軟に他者の意見を受け入れ、成長していきたいと思っています。

学生時代の過ごし方

○学業

行政法を専攻し、地域課題の解決を目的としたグループ研究を行いました。

○課外

塾講師、販売業等のアルバイトを経験しました。市民活動の運営、子供と関わる活動等のボランティアを経験しました。

人事から一言

終始笑顔であり、明朗快活でハキハキしていることから、誰からも好かれそうな印象を受けました。職員からの指摘をそのまま受け止めるのではなく、自分の意見を上乗せして受け答えをしており、柳のようなしなやかさとタフさが感じられました。



Profile No.10

【性別】 男

【年齢】 22歳

【出身】 静岡県

【大学】 北海道大学

【学部学科】 教育学部

【ゼミ】 青年期教育論

【趣味】 野球

【区分】 法律

【説明会参加回数】 なし

併願先

○官庁訪問先

防衛省、厚生労働省、財務省財務局

○他種試験

東京都庁、広島県庁、国家一般職

○民間

なし

自己PR

自分の長所はあまり威圧感がないところや、ある程度適当なところだと思います。そのためかは分かりませんが周りから相談されることが多いです。社会人になってからも周囲に安心感や居心地の良さを与えられるような存在になりたいです。

学生時代の過ごし方

部活とバイトを中心に生活していました。体育会系の部活に所属していたり、遠征費を稼ぐためにバイトのシフトを入れまくっていたりしたので無駄に体力が尽きた気がします。

人事から一言

部活動のエピソードを交えて説明するなど、相手を惹きこませる会話を展開していました。指摘された事項を踏まえて、自身に足りない点を一生懸命考える姿から、優しさの奥に熱意があり、社会人になってからの伸びしろの高さを感じられました。

NEXT 試験・面接対策編



試験対策 ～全区分共通～

教養・知能分野

《全体総括》

特に文章理解や数的処理は出題数が多く、スピードが求められることから、毎日継続的に問題演習を行い、常に問題に触れて対策をする人が多かったです。

《文章理解》

1日数問ずつ過去問演習を行ない、継続的に勉強しました。速読の練習を行うなど、速く正確に解けるように意識しました。

また最大25点加点になるTOEICの勉強を行うことも効果的だと思います。

《数的処理》

解けない問題や理解に時間のかかる問題は飛ばすなど、できる問題から対策を始めて確実に得点できるよう意識しました。演習を通して問題の形式や解き方を頭に入れることを意識すると、応用的な問題が出題された時にも対応できると思います。

本番では、1問5分程度しか時間をかけられないので、練習でも時間を測りながら解くようにしました。また、自分が得意な問題・解ける問題を見極める力を養うことも大切だと思います。

教養・知識分野

《人文科学・自然科学》

高校で履修していた科目や大学受験で選択した科目を復習する形で勉強した人が多い印象です。公務員講座に出席したり、テキストや問題集を使って暗記したりしました。移動中などの隙間時間を利用して、時間をかけすぎず対策していました。

《時事》

日頃からニュースを見て社会への関心を高めたり、テキストや公務員講座の動画をを使って勉強したりしていました。ニュースは官庁訪問対策にもなるので、見る習慣をつけておいた方が良いでしょう。

政策論文

時間を測って試験時間内に書ききることを重視しながら練習をしました。過去に出題されたテーマを使って演習をしたり、自分で出題されそうなテーマを予想して関連する知識を覚えていったりして対策をしている人もいました。

～大卒法律～

専門択一

《全体総括》

講座受講、復習、問題演習を繰り返しました。判旨は内容の理解が難しかったため、判旨の中でも重要度の高い部分にマーカーで線を引き、その部分を何度も読み返すことで、判例の結論と論理をあわせて理解することを意識しました。憲法は重点的に対策をしました。民法は理解に時間がかかるので憲法と同時並行で進めました。判例を覚えればどの科目も得点源にできると思います。

《憲法・民法・行政法》

大学3年生の夏から勉強を始めました。勉強のペースとしては、最終的に全ての問題を4～5回、苦手な問題は6回以上解きました。年明けから総合職試験に特化した問題集での対策を始め、苦手な問題はノートにまとめ、移動時間に見直しました。

《刑法・労働法》

2月頃から勉強を始めました。講座の問題集を使いました。刑法は難しく、フィーリングで解きました。

《経済学・財政学》

講座受講、復習、問題演習を繰り返しました。ほかの試験種でも出題される科目で、汎用性があるため選択しました。また、経済学と財政学は内容が重なる部分が多く、理解を深めやすいと思います。

専門記述

《全体総括》

専門記述は専門択一の知識が前提となることが多いため、択一試験対策で勉強した科目を選択しました。択一試験の勉強をする際から、結論と論理を正確に理解しておくで専門記述の対策を進めやすいと思います。限られた試験時間で知識を事例に当てはめて解答を作成することは事前に練習しておくで良いと思います。

有名な法律の条文は暗記し、回答の型を覚えるようにしました。択一試験の対策ができれば、その知識を生かすことができると思います。勉強方法としては過去問を解いて、模範解答と自分の回答を見比べる作業を繰り返していました。

《憲法》

頻出問題やテキストを使用して60問程度勉強しました。他の科目と比べて論点が見つけやすいです。

《民法》

テキストで重要度の高いテーマを中心に40問程度勉強しました。他の科目よりも対策に時間が必要な科目だと感じました。

《行政法》

重要度の高いテーマを中心に20問程度勉強しました。他の科目と比べ、事前の暗記量を抑えられる科目だと感じました。

～大卒経済・院卒行政～

専門択一

《全体総括》

公務員講座の問題集を解いて対策しました。総合職経済区分の経済系科目に特化した問題集があまり無いので過去問もたくさん解きました。

ミクロ・マクロで点をかせぎ、他科目で失点を防ぐことに集中しました。後悔として、必須で出題される統計学・計量経済学はもう少し学習すべきだったと思います。

《経済原論・経済事情》

公務員講座の問題集と過去問を使っていました。問題集を3周ほどしました。経済事情は、時事対策と重なる部分もあるので、時事対策のテキストをより深く読むような感じで年明けから対策しました。

《財政学・経済政策》

公務員講座の問題集と過去問に加えて、市販の問題集も用いて対策したり、白書を読んだりしました。

《統計学・計量経済学》

この科目は捨てる方が多いそうですが、簡単な問題がいくつか出る時があるので少し勉強するといいかと思います。公務員試験対策専門の統計学・計量経済学のテキストは数が多くないので、過去問を解いて対策しました。

専門記述

《全体総括》

基本的には、専門択一の過去問を選択肢を見ずに一から解くことで勉強しました。ちなみに点数は非常に悪かったです。択一試験で出来るだけ点数を取っておくのが良いと思います。試験当日は簡単そうに見える問題から解きました。専門記述はスピード感が重要です。練習で時間を測り、これまで学習した知識を総動員して素早く解くことを意識しました。

《経済原論・財政学・経済政策》

択一試験の延長と考え、理論の整理などをしました。

院卒行政（経済系）

ミクロ経済学では効用最大化問題、マクロ経済学ではIS-LMモデルの計算問題を頭に入れました。特にミクロの需要・供給曲線の動き方、余剰分析は経済政策や国際経済学でも出題されるため、覚える必要があります。統計学は基礎的な部分を頭に入れることが重要です。計量経済学にも応用することができます。

経済学系の専門記述は、大学院の入試問題や経済学の教科書の活用をお勧めします。公務員試験対策の本では詳細な理論が省かれている場合もあるので、記述ではより高度な本を参考にした方が良いと思います。

～大卒政治国際～

専門択一

《全体総括》

政治・国際区分は選択できる科目が多いですが、広く勉強するをおすすめします。特定の科目に絞ってしまうと本番で特殊な問題が出た場合に、困るかもしれません。難しい問題が出た時に他の科目で答えられると失点が少なく済むと思います。

《政治学・国際関係》

初見の選択肢がでることもありますが、頻出問題をしっかり暗記して、選択肢を確実に絞ることが重要です。暗記が多いので、関連性のあるもの同士でまとめて覚えたり、問われ方を変えたりしながら知識を定着させました。英語問題に関しては過去問を解くことで、専門的な単語を覚えていました。

《憲法》

ある程度出題範囲が限定されているので、何を聞かれても良いくらいに仕上げておくと思います。問題集を繰り返し解いて、定着させました。

《その他選択科目》

・行政学：政治学と同様、暗記が多いので、問題を解きながら覚えていきました。

・行政法：判例をストーリー感覚で暗記しました。

・経済学系：難易度の高い問題は出ないのでおすすめです。財政学は覚えることがさほど多くなく、時事的要素もあるので、取り組みやすいと思います。

専門記述

《全体総括》

重点的に勉強を始めたのは一次試験後です。択一試験の知識を応用しながら答案練習を行ったので、まずは択一の勉強を進めることが大事だと思います。年度によって難易度に差があるので、複数科目を勉強し、当日答えやすい科目で答えられるようにしました。

《憲法》

予備校のテキストで勉強しました。基本論点と論述の流れをしっかりと覚えておくことが重要です。テーマごとに必要な要素を覚えていきました。

《政治学・行政学》

過去問を利用して、択一試験の知識を応用する形で勉強を進めました。問題演習を行いながら、問題を読み解く力もつけていきました。頻出テーマに関しては、更に書籍を読んで理解を深めました。

《公共政策》

過去問を使い、解答の練習を重ねました。データの処理方法や問いへの答え方を覚え、的確に答えられるよう練習しました。

～大卒教養～

一次試験

《全体総括》

試験制度的に大学2年生でも受験が可能なので、受験することを強くお勧めします。1次試験の総合論文が最も重要な科目となっています。この点を意識して勉強を進めましょう。しっかり対策すれば誰にでもチャンスがある試験だと思います。公務員に興味がある方全員に受けてもらいたい試験です。

《総合論文》

極めて重要な科目であり、最も時間をかけて対策をしなければならない科目です。最低でも半年は勉強期間をとる必要があると思います。

官公庁の政策パンフレットや重点施策を勉強し、昨今の日本・世界の課題は何なのか、どのような施策を打ち出せば良いかをよく考えておきましょう。

大事な点は①現状分析、②現状を変えるために必要な施策の方向性、③具体的な施策の内容、の3点です。この3点を良く考えて勉強しておけば、合格点を超えることはできると思います。

問題文の全ての言葉に意味があると考え、書くべき内容から外れないように気を付けました。奇をてらうことなく、現状の課題、施策の方向性、具体的な施策の3点を一貫性を持って書きました。時間内に書き終えるのが難しいと思うので、時間を測って対策すべきだと思います。

二次試験

《企画提案試験》

説明力と企画力を問われていますが、特に説明力が必要となります。

この試験で一番大切なポイントは、「公平性」だと思っています。垂直的公平と水平的公平の2つに分けて施策の公平性を説明することが、施策の内容を考える以上に重要だと思います。予算制約や、国と地方の役割分担、公平性など公務員としての政策提案となっているかを試される試験だと思います。これから試験を受ける方は、この点を意識していただけると嬉しいです。事前に公開される資料から問題を予想し、丁寧に練り上げました。

《政策課題討議試験》

いわゆるグループディスカッションですが、「人の話を最後まで聞く」ことがポイントです。この点さえ守っていれば、合格点はとることができますので、それで問題無いと思います。特段対策等は必要ありませんので、上記のポイントだけ心掛けておいて、試験に臨みましょう。

全員を一つの結論に無理矢理合意させようとするのは悪手ですが、「ここまでは全員の合意点であるが、この点で考えの違いがある」など議論をまとめる必要はあると思います。一緒に働きたいと思ってもらえるよう、協調性を意識すると良いと思います。

官庁訪問の概要 1

官庁訪問とは

官庁訪問は、国家公務員採用総合職試験の最終合格者のみが経験できる職場訪問であり、その内容は各官庁ごとに異なります。基本的には、事前に訪問予約を行い、第1クールから第4クールまで訪問を繰り返します。採用にいたるための事実上最後の難関です。しかし、恐れる必要はありません。官庁訪問に進出する皆さんは、既に総合職試験を突破しており、確かな実力が証明されています。これまで築きあげてきた自分を信じ、官庁訪問に臨んでください。

● 控室集合 (8:30～9:00)

*** 以下の時間は目安です。**

受付名簿に名前を書き、控室で人事の方に呼ばれるまで待機します。2023年度は、約10～20名ほどの訪問者が同じ部屋で待機していました。第1クールでは、初対面ということもあり静かでしたが、第2クール以降は比較的部屋の雰囲気も明るかったように感じます。

● 入口面接 (9:30～10:30、1人5分程度)

基本的には、どんな職員から話を聞きたいかの希望調査になります。人数や順番にもよりますが、この入口面接での待ち時間が意外と長いです。なかなか呼ばれないなと不安になるかもしれませんが、人事の方が準備をしていらっしゃるの、落ち着いて待ちましょう。

● 原課面接① (10:30～11:30、約40分～60分)

いよいよ面接です！最初の面接は緊張や不安でいっぱいだと思いますが、皆さんの心の中には、面接官はどんな人だろうという期待も大きいと思います。不安よりも、その期待をぜひ膨らましてほしいなと思います。心の赴くままに、面接官との対話を楽しんでください。

● 原課面接② (11:30～12:30、約40分～60分)

人によっては、午前中に2回目の面接が無い方もいらっしゃいますが、評価されていないわけではないので、気にしないでください！1回目と同様に面接をすることになります。1回目の面接で答えた内容と矛盾するような回答をしないように、自分の軸を明確にして臨みましょう。

● 昼食休憩 (12:30～13:30、約1時間)

持参した昼食を食べたり、省内にあるコンビニで購入したお弁当を食べ、て過ごす人が大半でした。省内のレストランでご飯を食べるのも良いかと思います！また、午前中の面接の振り返りをしておくと、午後の面接で生きると思います。

官庁訪問の概要 2

● 原課面接③ (13:30～15:30の間に、約40分～60分)

お昼ご飯の後に眠たい時間ですが、気を引き締めて面接の再開です。基本的な流れは同じですが、3回目ともなると少しずつ心にゆとりができるかもしれません。このような時こそ、油断大敵です。「もう大丈夫だろう」などと思わず、真摯な受け答えを改めて心掛けましょう。

● 原課面接④ (15:30～17:30の間に、約40分～60分)

4回も面接を経験すると、面接官が何を訪問者に求めているか、ということが分かってくると思います。どの面接官も、聞き方は異なりますが、確認しようとしていることは同じです。訪問者の熱意が試されていることを肌で感じる時間になるでしょう。

● 原課面接⑤ (17:30～19:00の間に、約40分～60分)

訪問者の数にもよりますが、これが最後の原課面接となると思います。1日の疲れが出てきて辛い時間帯ですが、このような時にあなたの真価が試されます。辛いときこそポジティブに！ここで踏ん張り次につなげていくために、もうひと頑張りしていきましょう。

● 人事面接 (19:00～20:00、無い場合もあります)

人によりタイミングは様々ですが、面接がある程度進んできた段階で行われることがあります。原課面接と同様、志望動機をはじめとして様々な質問をされると思います。緊張せず、落ち着いて回答していただければ大丈夫です。

● 出口面接 (19:00～20:00、1人5分程度)

1日の感想を簡単に聞かれた後、面接を通しての評価を伝えられます。その際、修正点も伝えられます。次の面接に備えて修正点の振り返りをしておくことが宿題になります。大変ではありますが、引き続き頑張ってください！

官庁訪問の便利アイテム

- ・面接待機の時間が長いこともあるので、チョコレートなどのお菓子は必須だと思います。
- ・大きめのメモ帳やノートです。職員の方のお話をメモし、考えを整理することに使用しました。

官庁訪問対策 1

官庁訪問に向けてどんな事前準備をしましたか？

～ポイント～

「相手を知り、自分を磨く！」

・大学の教授や友人と面接練習をしました。参加した説明会の資料を参考に、各省庁の政策や今後の課題を研究しました。

・官庁訪問に向けて事前に説明会に参加し、職場の雰囲気や業務内容について理解を深めました。財務局が必要としている人材について理解することに役立ちました。

・友人から客観的に見た自分の姿について意見をもらいました。

・採用パンフレットや内定者パンフレットを見て、必ず聞かれるであろう質問を3～4個ピックアップしました。

・大学のキャリアセンターや生協の公務員試験対策講座で、ESや面接のアドバイスをもらいました。

官庁訪問中に見られていた(試されていた)部分は何だったと思いますか？

～ポイント～

「熱意、思考力、人柄！」

・思考力、質問する力、説明する力です。どれだけ深く考えられたとしても、それを相手に伝えられなければ、考えたことも水の泡となってしまいます。

・「一緒に働きたいか」だと思います。素直さ、リーダーシップ、思考力、簡潔にまとめる力など、省庁で求められる能力のうち、自分の強みと思えるものをしっかり出すことが大切です。

・財務局で働きたいという熱意があるかを見られていたと思います。熱意が、志望動機や一つ一つの質問の回答に現れてくるのだと思います。

・論理性とコミュニケーション力だと思います。志望動機やガクチカなどを、自分の体験に基づいて理論立てて言えるかが大事だと感じました。加えて、面接官の方とお話する際に、一方的に自分のことを話すのではなく、「対話・会話」になっているかも大事であると思います。

官庁訪問対策 2

面接で意識したことは何ですか？

～ポイント～

「謙虚に、誠実に、ありのままの姿で臨もう！」

・分からないことは素直に質問し、意見を尋ねられたら自分の考えをまっすぐに伝えることを意識しました。

・飾った自分ではなく、自分の考えを素直に話すようにしていました。また、物怖じせずはっきりと話す事を心がけていました。

・省庁の業務やそれに従って求められる能力を分析しました。また、自分の長所（誠実さ）を出しつつ、短所（リーダーシップの欠如）を克服する決意を示すことを意識しました。

・謙虚でいることを意識しました。自分の考えをしっかりと伝え、足りない部分があるなら面接官の方の言葉を真摯に受け止めるようにしていました。

・相手の目を見ることです。顔をあげて話す方が印象はよくなります。

メンタルケアはどのようにしていましたか？

～ポイント～

「メンタル管理も試練の一つ！周りの人を頼ろう！」

・私はほぼ全ての日程を霞が関で過ごし、時には帰ったのが深夜となったこともありました。そのため、精神的にも肉体的にも苦しかったです。私のメンタルケアはとにかく寝る！でした（笑）。

・休日に好きなものを食べたり観光したりして気分転換をしていました。

・待合室で他の受験者と意見交換をし、考えを深めたことが緊張の緩和につながったと思います。

・第1クール初日で希望の省庁から「第2クール以降来なくていいです」と言われたときはかなり落ち込みました。官庁訪問をしている友達には話しづらいこともあったので、民間就活が終わっている友達に話を聞いてもらいました。

官庁訪問対策 3

来年度以降の訪問者へのアドバイスをお願いします！

～ポイント～

「自分を大事に、自分を信じて、自分を出し切ろう！」

・官庁訪問は長い闘いとなります。そのため準備を怠らないことが大切だと思います。良い準備をし、心身ともに常に万全の状態での闘い抜くことが重要だと考えます！

・自分のありのままの姿を受け入れてくれる省庁で働くことが一番だと思います。頑張ってください。

・財務局の職員の方は皆さん真剣に話を聞いて向き合ってください。周囲の人を頼りながら落ち着いて頑張ってください。

・官庁訪問は長く続く大変な期間ですが、同時に、様々な仕事を経験している職員の方からお話を聞ける機会でもあります。気を張りすぎず等身大の自分で頑張ってください！

・官庁訪問を振り返って、意外と楽しいことが多かったというのが正直な感想です。多くの職員さんとお話ができるのはもちろん、控え室で同じ学生同士で話すのも良い経験でした。貴重な機会なので楽しむ気持ちを持って欲しいです。

・ずっと胃が痛かったです。思い出したく無いイベントNo.1です。とは言っても、原課面接で職員の方と話したり、待合室で他の訪問者と喋ったりするのは楽しかったです。官庁訪問に攻略法は無いと思います。とりあえず、自分の性格を採用者に分かってもらえるように自然体で話し、そこからは採用者に委ねるしか無いと思います。頑張ってください！！

・官庁訪問は一朝一夕でどうにかなるものではなく、これまでの自分の人生が現れてくるところだと思います。そのため、本番を迎えたら自分に自信を持って、素直な自分で臨んでもらえたらと思います。

官庁訪問対策 4

次の面接までの待ち時間で何をしていたか教えてください！

・他の訪問者たちとおしゃべりしたり、省庁のパンフレットを眺めたり、志望動機を練り直したりしていました。

・その日の成長を言語化できるように準備する時間に充てました。課題意識、解決策、それらに対する原課面接を通じた考えの変化を整理していました。

・前の面接の反省をしつつ、周りの人と会話もしていました。待合室での過ごし方は見られていないので、もう少しリラックスして過ごせばよかったです。

～ワンポイント～

・他の官庁では、若手職員の方が周りで訪問者の様子を見ていたり、訪問者に話しかけたりすることもあります。財務局の官庁訪問は小さな部屋に訪問者だけが集まり待機するスタイルでした。2024年度はどうなるかわかりませんが、ご参考までに！

宿泊先はいつ頃選びましたか？交通手段は？交通費と宿泊代の総額は…？

・訪問先に近いホテルを選びました。京都からで、新幹線往復約30,000円、宿泊代11泊で約110,000円。その他諸々を入れて総額150,000円くらいはかかったと思います(泣

・宮崎から参加しましたが、交通手段は飛行機でした！地方上級の試験を受けに土日で宮崎に1度帰ったので、飛行機代は計2往復で6万円程度（2ヶ月前くらいに予約しました）でした。ホテルは1週間ごとに変えましたが、合計12泊くらいで10万円程度だったと思います。

・官庁訪問中の宿泊先は、一次試験の合格発表の数日前に、霞ヶ関までのアクセスの良さで選びました。交通手段は、新幹線です。

・宿泊先は5月上旬に予約しました。東京の地理がよくわからなかったもので、羽田空港から簡単に行ける新橋駅付近のホテルを探しました。新千歳から羽田までの飛行機代が往復で2万5千円程度、宿泊費が11泊で15万円程度かかりました。

官庁訪問対策 5

事前に各官庁の説明会へ行く意味は何だと思いますか？

～ポイント～

「自分が輝ける場所か見極めよう！」

・各省庁のミッションや重要課題を知り、他の省庁との違いを明確にしたうえで、自分のやりたいことがそこで実現できるかを考える機会になると思います。

・各省庁の業務内容とカラーを理解するために行くものだと思います。省庁によっては顔を覚えてもらうという意味もあると思います。

・説明会へ行く意味は、その省庁の雰囲気がわかることです。雰囲気には職員の方々、職場そのもの、そして志望する学生も含まれます。たとえ自分のやりたいことができたとしても、一緒に働く人たちの雰囲気と合わないこともあります。自分がこの人達と一緒に働くことができるかを学ぶこともできます。

・官庁のパンフレットを読むだけでは分からない、各官庁で働いている人や志望者の雰囲気を知ることが出来たと思います。

財務局という官庁をどのようにして知りましたか？

・近畿財務局の講義を大学で受けたことでその存在を知りました。

・自分の興味関心に固執せず、様々な省庁巡りをしているときに、偶然知りました。

編集者より一言

この官庁訪問体験記は、他の内定者と協力し作成いたしました。官庁訪問のリアルな内情を伝えられたのではないかと思います。長文なため、いくつかの項目には「～ポイント～」を添えました。

官庁訪問に限らず、面接で大切なことは「肩の力を抜き、心穏やかに過ごす」ことです。皆さんの官庁訪問が、人生におけるかけがえのない幸福な時間となることをお祈りしています。

ご一読いただき、ありがとうございました。財務局で待ってます！

面接対策 1

公務員を志望した理由を教えてください！

・報道で見聞きする様々な日本の課題に対して、以前より解決策を考えることがありました。そんな中、ある一冊の本から「考えるだけではなく、行動することが大事」ということを学びました。日本の課題に対して大きな影響力を発揮し直接アプローチができる官僚は、自ら行動に移せる魅力的な仕事だと感じ、志望しました。

・父が介護職に従事しており、その影響から将来は人を支える仕事に就きたいと思うようになりました。一方で、現場レベルの限界も理解したため、より多くの人を支えることができる公務員(国家公務員)を志望するようになりました

・国民が自身の希望を実現できる社会を構築し、国の経済成長や発展に携わりたいと思っていました。また、社会課題を多様な視点から捉え、解決に導きたいという思いがあり、これらを仕事で実現できるのは国家公務員だと考え、志望しました。

・民間企業が解決することができない、もしくは解決するインセンティブを持たないような社会課題に対しても主体的に働きかけていきたいと考えたからです。生きていく中でそのような社会課題に疑問を抱くことが多く、それらの解決をミッションとする国家公務員が自分のやりたいことと一致していました。

・社会問題に様々な角度から実行力のある形で取り組むことができるから。民間でもできることはたくさんあるが、法制度という手段で多くの人を巻き込むことができるのは国家公務員だけだと考える。また、地方や外国など多様な場所で成長できる点も魅力に感じている。

・日本を明るくすることに貢献出来る仕事だと思ったからです。

・行政活動は、国民生活の安定と発展に必要であると考えています。社会で生じた課題を、法律や予算、政策に反映させることで課題の解決に向けて取り組むことができる点に国家公務員の魅力を感じたため、志望しました。

・日本の課題に対してルールの中で対処するだけではなく、自分たちでルールを作りながらアプローチできるという点に魅力を感じ、国家公務員を志望しました。

・一人でも多くの人が希望を持って生活ができる社会の実現に貢献したいという思いから公務員を志望しました。その中でも、国家公務員は、公務員としてできることの規模が大きく、一人でも多くの人役に立つという観点から自分がしたいことにマッチしていると思い志望しました。

面接対策 2

財務局総合職を志望した理由を教えてください！

・「国と地域をつなぐ」という財務省財務局のミッションに共感しました。将来は地方財務局の業務を経験するとともに、本省庁における地域の視点を踏まえた政策立案に携わり、国と地方の双方に貢献したいと考えています。

・国と地域をつなぐという財務局の理念に共感し、国家公務員でありながら地方にも大きく貢献できる点や自分の課題意識に関わっていけそうな点に魅力を感じたため志望しました。

・国と地方のバランス感を身につけられるから。地方の財務局での経験・学びを国に反映できるだけでなく、国（中央省庁）での政策の進め方・スピード感を地方に届けることもできる点が魅力だと感じた。

・民間企業が解決することができない、もしくは解決するインセンティブを持たないような社会課題に対しても主体的に働きかけていきたいと考えたからです。生きている中でそのような社会課題に疑問を抱くことが多く、それらの解決をミッションとする国家公務員が自分のやりたいことと一致していました。

・財務省の業務が幅広いことや、財務局の地域を意識した業務に興味を持ったため志望しました。

・私は帰省の度に、私の地元である栃木県が衰退していく現状を感じていました。そして、今後少子高齢化社会が進んでいく日本を考えると、おそらく他県においてもこのような現状にあると考えました。そのため財務局に入省し、財務局の業務を通して日本を支えていきたいと思うようになりました。

・財務省財務局では、政策形成に携わるだけでなく政策が実行される現場でも経験を得られることから、国と地方の双方の視点を持ち、「国と地域をつなぐ」役割を果たしたいと思い志望しました。また、経済や財政、金融の様々な分野に携われる点にも魅力を感じ、志望しました。

・日本の抱える重要な課題を考えたとき、根本的には「グローバル化とどう向き合うか」だと考えました。それは各官庁が抱える共通の課題であり、中央政府・地方政府が連携して解決すべき問題だと感じました。財務局の使命は「国と地域をつなぐ」です。この理念は私の考えにマッチしていると思いました。

・財政や金融という多くの人に影響を与えることができる分野において、地域の声を最大限反映した政策の形成に貢献することで、一人でも多くの人が幸せと感じる社会を実現したいと思ったからです。

面接対策 3

印象に残った質問や面接官の言葉を教えてください！

・面接官から、「本当に言いたいことを初めに伝えるように」とアドバイスされたことです。話す話題が広がりがちになっていることから、簡略化しつつ、伝えたいことは外さないとのアドバイスをいただき、その後の面接で意識して話すようになりました。

・国有財産の利活用の話題の中で、「財務省の建物（敷地）について無駄に感じるところはあるか」という質問をされました。国有財産の問題について考えてみるきっかけになりました。

・自分が経済学専攻で金融に興味があったこともあり、「今の日本の株価が高い理由は思いつく？」と質問していただいたのは印象的でした。

・金融分野に関心があると述べた際に、「君が思う金融って何？」と質問された時は、言葉の定義が自分の中で曖昧で回答に詰まってしまいました。

・志望動機を述べた上で、この先何十年間その思いだけで乗り越えていけるのかと質問された時は少し戸惑いましたが、ここで働きたいという意思を強く示しました。

面接での成功談を教えてください！

・面接官の方々に「笑顔が素敵だね」と褒めていただきました。

・「本当に働く気持ちがあるのか？」という点を意識しながら面接に臨むことができたところが良かったと思う。

・面接に対する回答を丸暗記するのではなく、自分の経験に基づいて、自分の言葉で面接官の方に伝えることができたところが良かったと思います。

・わからない点や疑問点などはきちんと質問し、コミュニケーションをとることができた。

面接での失敗談を教えてください！

・面接中に早口になってしまった。

・とっさに質問に答えた時に、言葉が足りず自分が伝えたいこととは違う意図で伝わってしまったこと。

・新聞やニュースをほとんど見ていなかったのも、経済に対する興味が本当にあるのかと言われてしまった。

・聞かれた質問に対して、自分の回答を論理立ててすることができなかった。

・自分の専攻分野に対する質問をされた際にうまく回答することができなかった。

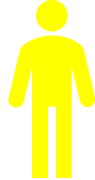
内定者対談 1

参加メンバー

Aさん



Bさん



司会



Cさん



Dさん



対談

・官庁訪問における緊張対策

司会：皆さん官庁訪問の際、どのように緊張をほぐしていましたか？

Aさん：他の受験者の人たちとお話をしてたかな。

Bさん：私も！面接官に対しても積極的に質問してたよ～。

Cさん：自分はいえ官庁訪問と関係ない人と連絡とってたかな～。

Dさん：自分もそれやってた！なんか、官庁訪問とは関係ない人の方が気軽に相談できたかもしれない。

Cさん：確かにそれも！官庁訪問中はやっぱりみんな一生懸命だし、息抜きみたいなのが欲しかったよね。

内定者対談 2

対談

• 面接（官庁訪問）対策

司会：それでは次に面接対策についてお聞きします。皆さん官庁訪問を無事くぐり抜けられたと思いますが、何か対策はしておりましたか？

Dさん：正直、何もしていませんでした。ぶっつけ本番ですね（笑）。

Aさん：自分も同じだな～。強いて言えば、知り合いの社会人の人と少し話したかな～。結構役立ったかも。

Dさん：なるほどね～。私はとにかく笑顔で、あまり意識せず自然体を保つを意識していたかな。

Cさん：自分も特に対策はしなかったな。官庁訪問時中はどの面接官に対しても財務局の強みを聞いてたよ～。

司会：Bさんはどうですか？

Bさん：そうだね、特に面接対策はしなかったかな。ただ、説明会には何回か参加して、どういう人材が必要としているのかをなんとなく考えてみたかな。あと、官庁訪問中は職員の方のアドバイスをパソコンを使って文字に起こしてたかな。出口面接とかで役に立ったよ！

内定者対談 3

対談

• 官庁訪問中の休日について

司会：官庁訪問中は忙しかったと思いますが、ところで官庁訪問中の土曜、日曜はどのように過ごされていましたか？

Dさん：自分は地方上級の試験を受けてたな。試験は東京で受けられたから、もう一日は東京を観光したよ。

Cさん：私も試験受けたな。私は地元に戻って受けたんだー。いやー大変だったよー。

司会：自分も地方上級の試験受けました。今年は公務員志望者にとって日程がハードでしたよね。Aさん、Bさんはどうですか？

Bさん：私も地元に戻ったけど、試験は受けずに、お家でゆっくり休養をとってたね。

Aさん：私はがっつり東京観光してたな！土曜日に東京タワー、日曜日には上野動物園に行ってきたよ！

司会：皆さん地方出身ということもあるのか、休日ですがアクティブに移動している方が多い印象ですね。

内定者対談 4

対談

- 官庁訪問を通して大変だったこと

司会：最後に、官庁訪問を通して大変だったことをお聞きしたいと思います。少し難しい質問かもしれませんが何かございますか？

Cさん：頭を使っているせいか、おなかがとにかくすいて大変だったな～。

Bさん：Cさんいつも何か食べてなかった（笑）？私は緊張で逆に何も食べられなかったよ．．．。

Cさん：そんなことないよ（笑）。あと、ホテル暮らしで乾燥がつかったな～。

司会：官庁訪問は肉体的にも、精神的にも大変だったと思いますが、その点いかがでしょうか？

Aさん：精神的にはかなりつらかったかな～。待たされるのがきつかったね。

Dさん：自分は頭の切り替えが難しかったな～。時間的に余裕がなくて、振り返りの時間が十分にとれなかったな。あと、この2週間は特に暑かった（笑）。

最後に

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

このパンフレットで皆様の就職活動の不安を解消することができたのなら幸いです。その上で皆様が、財務局総合職として働きたいと思ってくださったのなら嬉しい限りです。

就職活動ほど自分自身に向き合う機会はこれから先の人生で、そう多くはないと思います。自分自身に向き合うことは時に苦しいこともあります。就職活動が終わったころには良い経験だったと感じているはずです。皆様が自分を信じて前向きに就職活動ができるよう応援しています。

このたびのパンフレット作成にあたり、人事の皆様をはじめ、数多くの方々のご支援、ご協力を賜りました。この場をお借りして御礼申し上げます。

令和6年度財務省財務局総合職内定者一同

注意事項

この冊子の文責は、令和6年度財務省財務局総合職内定者にあります。よって、このパンフレットの内容は、内定者の個人的見解によるものであることにご留意ください。また、本名は掲載されておりませんが、個人を特定できる情報が含まれています。そのため、取り扱いには十分ご注意いただき、無断での複写・複製・転載等なさないようお願いいたします。

